

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	078 -	事業名	成人保健事業			担当部課	福祉部健康推進課			
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち				会計区分	一般会計			
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					予算区分(款 - 項 - 目)			
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち				4-1-2 予防費				
	法定受託事務の有無	✓ 健康増進法								
	その他(関係計画、要綱等)	-								
事業開始の背景、経緯等	生活習慣病を予防する対策の一環として、疾病の早期発見・早期治療によって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図ることを目的とし実施。									
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民が自分の健康状態を確認し、疾病の早期発見・早期治療によって、健康の保持・増進を図る。								
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民								
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の健康の保持・増進を図る。								
	事業を構成する事務事業(B票)	① 健康診査事業	② 検診事業	③	④	⑤	⑥			
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	事業費(A)	千円	予算	97,552	120,307	123,451	148,159	144,627		
			決算	95,050	113,949	129,554	136,804			
	人件費(B)	千円	決算	-	23,955	23,999	23,701			
総コスト(A)+(B)		千円	決算	-	137,904	153,553	160,505			
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	A 健康診査受診者数	人	目標	-	29,201	29,607	30,209	30,721		
			実績	-	29,607	30,209	30,721			
	B		目標							
			実績							
	C		目標							
実績										
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)										
A 疾病の早期発見・早期治療のため、受診者数増加を指標とする。										
B										
C										
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 (他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町においても同様に実施している。									
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 各取組の実績は、39歳以下健診318人、一般健康診査5人、胸部検診6,780人、胃検診4,594人(X線3,607人、内視鏡987人)、大腸6,571人、前立腺がん2,339人、肝炎ウイルス478人、眼底4,666人、喀痰36人、子宮2,207人、乳腺1,989人、歯周病747人。								
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 健康診査事業、検診事業ともに、普及・啓発を図ることで、年々受診者数は増加している。								
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 事業の普及・啓発を図り、検診受診者増加を図ることが課題である。								
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民自ら健康の保持・増進に取り組めるよう事業を実施する。								
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 継続して受診者数増加を目指す。								

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・他の健康診査事業などと連携を図ってください。
------	-------------------------	---

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	成人保健事業		担当部課	福祉部健康推進課	決算書ページ	—
事務事業名	①	健康診査事業	予算区分	4-1-2 予防費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和62年度	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 39歳以下の方を対象とした39歳以下健診、生活保護受給者を対象とした一般健康診査を実施。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 疾病の早期発見・早期治療によって市民の健康の保持増進を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算	2,689	3,161	2,924	3,070	2,659
		決算	1,642	1,645	1,587	1,923	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		39歳以下健診委託				1,889	千円
(2)		一般健康診査委託(生活保護者分)				34	千円
(3)							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
受診者数	人	見込	—	383	376	314	323
		実績	—	376	314	323	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>【受診者数】							
<ul style="list-style-type: none"> ・39歳以下健診318人 ・一般健康診査(対象者：生活保護受給者)5人 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

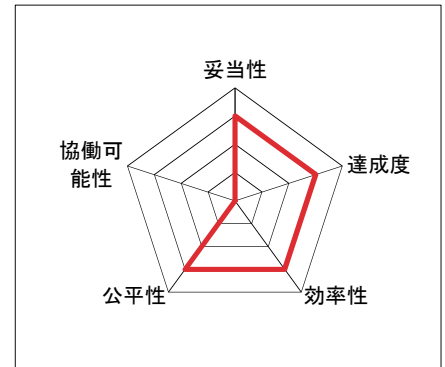
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 39歳以下及び、生活保護受給者を対象とする健康診査は、健康の保持・増進のためニーズがある。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
3,070 千円 2,659 千円 Δ 411 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 拡充
・前年度【コメント】
市広報、各種事業を通じて普及・啓発に取り組み、受診者の増加を図る。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか) 平成29年度に受診者数が減少した39歳以下検診について、平成30年度は早期から周知を行うとともに、共生ステーションにチラシを設置したり、乳幼児健診の通知にチラシを同封したりすることで、受診者数が増加した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
事業の性質上、協働、市民参加する事業には該当しないため。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
39歳以下や生活保護受給者の疾病の早期発見・早期治療に繋がった。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
受診者数が前年度と比較し、事業全体で9人増加したが、引き続き市広報、各種事業を通じて普及・啓発に取り組み、受診者の増加を図る。

7. 今後の方向性

拡充

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	成人保健事業		担当部課	福祉部健康推進課	決算書ページ	—
事務事業名	②	検診事業		予算区分	4-1-2 予防費	
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和41年度		終了(予定)年度	—	

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民を対象に、胸部、胃、大腸、前立腺、肝炎ウイルス、眼底、喀痰、子宮、乳腺、歯周病検診を実施。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 疾病の早期発見・早期治療によって市民の健康の保持増進を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	94,863	117,146	120,527	145,089	141,968
		決算	93,408	112,304	127,967	134,881	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		胃検診委託				49,472	千円
(2)		肺がん検診委託				20,261	千円
(3)		子宮がん検診委託				14,614	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
受診者数	人	見込	—	28,818	29,231	29,895	30,398
		実績	—	29,231	29,895	30,398	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>【受診者数】 胸部検診6,780人、胃検診4,594人(X線3,607人、内視鏡987人)、大腸6,571人、前立腺がん2,339人、肝炎ウイルス478人、眼底4,666人、喀痰36人、子宮2,207人、乳腺1,989人、歯周病747人。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

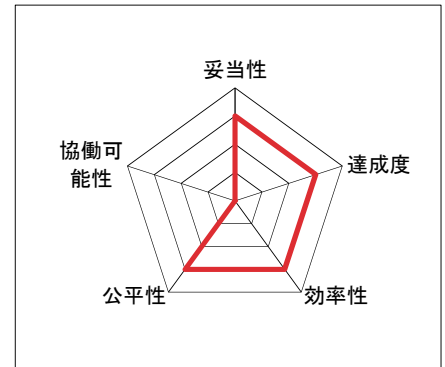
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 各種健康診査は、健康の保持・増進のためニーズがある。
--

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
145,089 千円 141,968 千円 △ 3,121 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 拡充
・前年度【コメント】
市広報、各種事業を通じて普及・啓発に取り組み、受診者の増加を図る。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか) 平成29年度に受診者数が減少した子宮検診について、特に受診率が低かった20代、30代の未予約者対象に、年1回だった勧奨通知を年2回送付した。また、新規で40～69歳の未予約者対象に、勧奨通知を送付することで、受診者数が増加した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況(30年度(2018)) (協働で取り組んだこと、評価できない理由など) 事業の性質上、協働、市民参加する事業には該当しないため。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 受診者数が前年度と比較し、事業全体で503人増加した。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など) 各種検診の内、肝炎ウイルス検診、眼底検診、喀痰検診および歯周病検診については前年度より受診者数が減少しているため、市広報、各種事業を通じて事業の普及・啓発に取り組み、受診者の増加を図ることが必要である。

7. 今後の方向性

拡充